

令和2年12月14日
九州地方整備局
九州技術事務所

全国初！！NETIS 技術活用の新たな取り組み

～新技術を活用促進するためのモデル施工実施～

九州地方整備局九州技術事務所では、新技術情報提供システム（NETIS）に登録された新技術の現場での活用を促進するために、説明会やホームページ等を利用して新技術の活用状況に関する情報提供などの様々な取り組みを実施しているところです。

NETIS 登録技術の新たなPRの取り組みとして、九州技術事務所内に実物による比較検討施設、モデル施工（防草対策）を整備いたしました。

九州技術事務所をPRフィールドとすることで、活用実績の少ない技術の活用を広げていく取り組みです。（別添参照）

取材対応可能ですので、別添により事前申し込みをお願いいたします。

どなたでも事前の申し込みにより施設見学が可能となっております。
なお、コロナウイルス感染防止のため、「班分け」、「マスク着用」、「健康チェックシート」、「体温測定」にご協力いただき実施させて頂いております。

↓↓↓モデル施工（防草対策）

http://www.qsr.mlit.go.jp/kyugi/const_tech/new_tech/moderusekou.html

↓↓↓施設見学

<http://www.qsr.mlit.go.jp/kyugi/office/kengaku/index.html>

【お問合せ・取材申込み】

国土交通省 九州地方整備局 九州技術事務所
〒830-8570 久留米市高野1丁目3番1号
TEL0942-32-8245（代表）
技術情報管理官 中島 勇一（内線304）
施工調査・技術活用課 岡島 朝治（内線385）

取材申込書

○取材を希望される方は、大変お手数ですが**事前にご連絡**をお願いします。

○FAX 送信期限：令和2年12月17日（木）17：00まで

○FAX 送付先：九州地方整備局 九州技術事務所 技術情報管理官

○FAX 番号：0942-32-8292

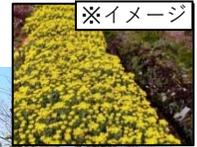
※取材に当たっての留意事項について

※施設の撮影をご希望に場合は、動きやすい靴（シューズ等）及び服装でお越し下さい。また天候の悪い可能性があるため、雨対策（傘等）も合わせてお願いします。

| |
|------------------------------------|
| ◆報道機関名 |
| |
| ◆取材者氏名（以下、優先順位の高い方から記載ください） |
| 1) 代表者 _____ |
| 2) _____ |
| ◆連絡先（代表者の連絡先） |
| |
| ◆連絡事項 |
| |

NETIS モデル施工(防草技術)のご案内

九州技術事務所内



【目地系】
⑦クサデナーズ
登録No. QS-17003-A
【株アマケンテック】



【目地系】
⑧目地バリシート (L型)
登録No. HR-14006-A
【株白崎コーポレーション】



【シート系】
③アスファルト系
防草シート「ハヤサン」
登録No. SK-190002-A
【株七王工業株式会社】



【シート系】
①防草シート 350G
登録No. QS-190013-A
【株グリーンフィールド】

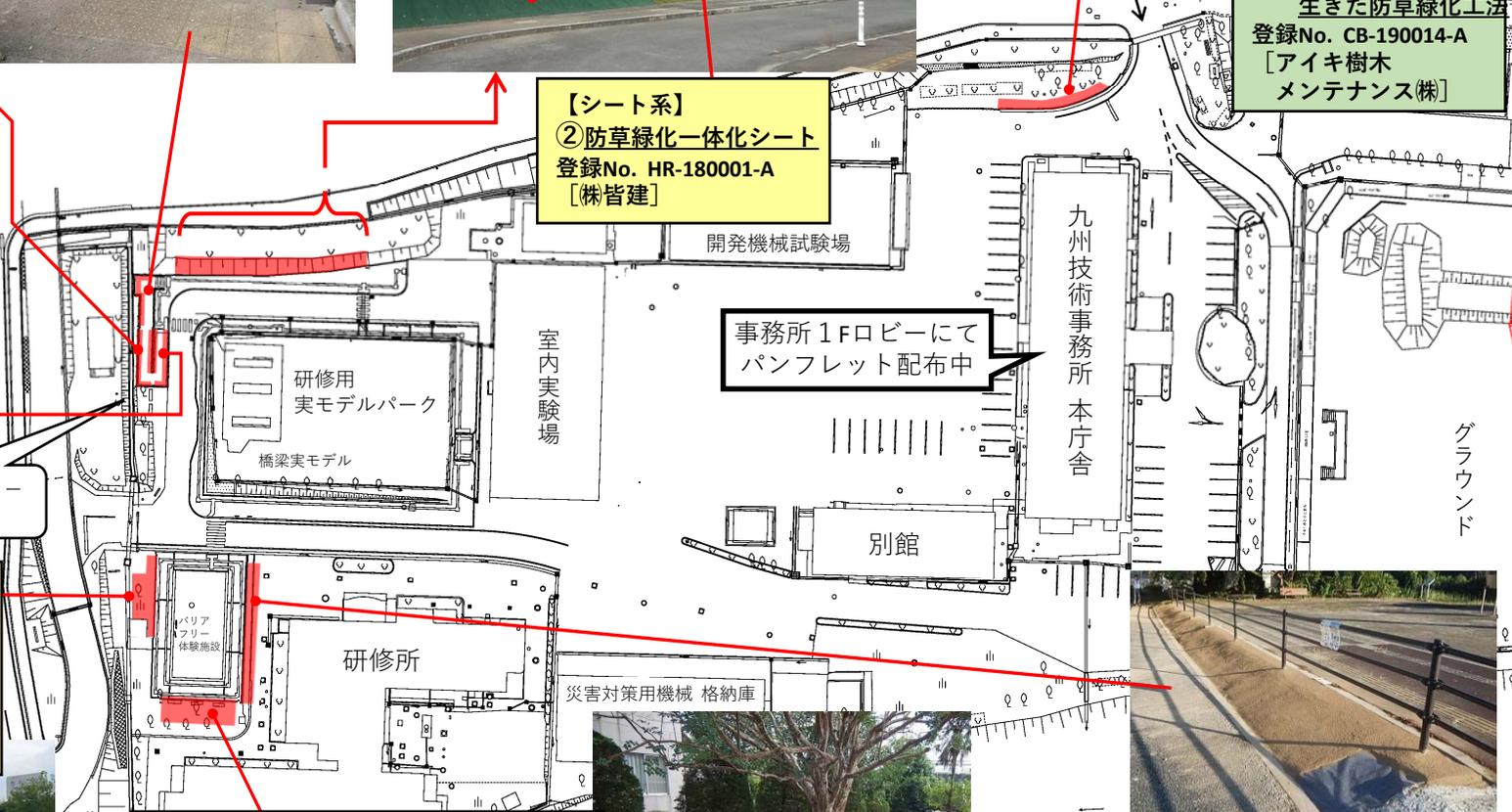


【防草緑化】
⑨菌根イソギクによる
生きた防草緑化工法
登録No. CB-190014-A
【株アイキ樹木
メンテナンス株式会社】

【目地系】
⑥ポーソーシールPLUS
登録No. KT-170052-A
【株シンレキ工業株式会社】



【シート系】
②防草緑化一体化シート
登録No. HR-180001-A
【株皆建】



車椅子用バリアフリースロープ部

【土系舗装】
④クリンカアッシュを固める
防草工法
登録No. SK-180018-A
【商品名: ライトガンコマサ】
【株ワイ・ピー・ケイ工業株式会社】



【シート系】
③アスファルト系防草シート「ハヤサン」
※バリエーションの「ハヤサンTU」
(シート+砂利)を施工
登録No. SK-190002-A
【株七王工業株式会社】



【土系舗装】
⑤シートと固まる土のハイブリッド防草工法
「かまださんのコロンプスのたまご」
登録No. QS-200007-A
【株ワイ・ピー・ケイ工業株式会社】



シート系

- ①防草シート 350G
(QS-190013-A)
【株グリーンフィールド】
- ②防草緑化一体化シート
(HR-180001-A)
【株皆建】
- ③アスファルト系防草シート
「ハヤサン」
(SK-190002-A)
【七王工業株】

土系舗装

- ④クリンカアッシュを固める防草工法
[商品名：ライトガンコマサ]
(SK-180018-A)
【株ワイ・ビー・ケイ工業】
- ⑤シートと固まる土のハイブリッド防草工法
「かまださんのコロンプスのたまご」
(QS-200007-A)
【株ワイ・ビー・ケイ工業】

目地系

- ⑥ポーソーシールPLUS
(KT-170052-A)
【シンレキ工業株】
- ⑦クサデナース
(QS-170003-A)
【株アマケンテック】
- ⑧目地バリシート (L型)
(HR-140006-A)
【株白崎コーポレーション】

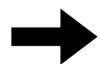
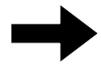
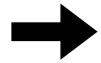
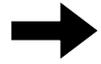
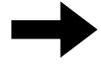
防草緑化

- ⑨菌根イソギクによる防草緑化工法
(CB-190014-A)
【アイキ樹木メンテナンス株】

施工前



施工後



モデル施工(防草系新技術)の技術概要

①

防草シート350G

QS-190013-A

防草シート350Gは特殊加工した極太繊維を交絡点で熱融着し、高強度、寸法安定性を有したポリプロピレン製の4層スパンボンド不織布である。長期に渡る暴露使用を想定し、特殊配合により紫外線への耐候性を高めている。



②

防草緑化一体化シート

HR-180001-A

本技術は、砂苔を活着させた防草シートを敷設することで緑化と防草を同時に行う技術である。本技術の活用により、定期的な除草工が不要となり、コスト削減及び施工性の向上が期待できる。



③

アスファルト系防草シート「ハヤサン」

SK-190002-A

本技術は表面材と裏面材の不織布の間に改質アスファルト層を設けた防草シート。本技術の活用により、防草シートの長寿命化が図れるため、ライフサイクルコストの削減による経済性の向上が期待できる。



④

クリンカアッシュを固める防草工法

SK-180018-A

本技術は、リサイクル骨材のクリンカアッシュを固めることで雑草が繁茂するのを防止する技術。本技術の活用により打設作業の簡素化と早期現場解放が可能となります。これにより交通規制の短縮や工事費削減につながります。



⑤

シートと固まる土のハイブリッド防草工法「かまださんのコロンブスのたまご」

QS-200007-A

この技術は防草工に寄与する技術である。本技術は、防草シートの性能を延命させるため防草土とシートの二重構造を現場施工により一体化することでシートの劣化を解消したハイブリッド防草工法である



⑥

防草材 ポーソーシー ルPLUS

KT-170052-A

本技術は、道路における雑草の発生を防ぐ。本技術の活用により、長期的に雑草の繁殖の抑制が可能のため、安全性、景観、品質、経済性の向上および工程の短縮が図れます。



⑦

クサデナーズ

QS-170003-A

道路舗装面(歩道含む)と道路縁石や中央分離帯の境界隙間から雑草が生えてくるのをレベリング材(流動性の高い材料)とトップコート材(水性塗料)を塗布することにより抑制する工法である。



⑧

目地バリシート(L型)

HR-140006-A

本技術はアスファルト舗装とコンクリート境界ブロック等の間に生じるL型目地などから発生する雑草を防護する技術で、従来は人力による除草作業で対応していた。本技術により、景観阻害や視界不良の解消、長期的には雑草に対しての維持管理費の削減等の効果が期待できる。



⑨

菌根イソギクによる生きた防草緑化工法

CB-190014-A

本工法は日本固有種のイソギクと完全生分解性防草資材を組み合わせ、産業廃棄物を一切発生させない防草緑化工法。中央分離帯のように除草に危険が伴う場所、日当たりが悪い場所、散水が困難な場所、広範で起伏などで維持管理に手間のかかる場所の防草緑化に特に向く。

